

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2971400201		
法人名	社会福祉法人 信愛会		
事業所名	グループホーム グレース(東棟)		
所在地	奈良県生駒郡平群町大字越木塚336-1		
自己評価作成日	平成30年11月30日	評価結果市町村受理日	平成31年4月8日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/29/index.php?action=kouhyou_detail_2017_022_kani=true&JirvosyoCd=2971400201-00&PrefCd=29&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 市民生活総合サポートセンター		
所在地	〒530-0041 大阪市北区天神橋2丁目4番17号 千代田第1ビル		
訪問調査日	平成31年1月30日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グレースは山の 中腹にあり 向いの矢田丘陵からは 日の出が見れます。立地の関係で 特に夕方の虹は大きく半円を描き 2重虹を見れるチャンスもあります。朝には様々な小鳥の音が聞こえ 自然には恵まれています。東棟のベランダからは生駒山も見え、気候の良い時は椅子を出して お茶を飲んだり 歌うこともあります。共有スペースのフロアがゆったりと広く 天井も高いので 圧迫感がないと喜んで頂いています。椅子やソファをあちこちに置いてあり ご利用者はその時々で好きな所に 好きな方と座り過ごされています。大人数のボランティアさんに来て頂いての行事も出来 楽しんで頂いています。大きな車を使い 全員での外出機会は いちご狩りなど 年3回程になりますが 一寸したテータイムや 行事用の買い物など ごく少人数ずつのお出かけもする様に心がけています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当該事業所は、運営推進会議等で地域の情報を得て、利用者と病院が運営しているカフェやオレンジカフェに出掛けたり、地域の公民館で開催される作品展に訪問する等、利用者が外出する機会を多く持てるように支援しています。また併設の事業所のフラワーアレンジメントに参加したり、事業所には踊りや楽器の演奏、月3回の傾聴等のボランティアの来訪があり、地域との交流を少しずつ深まるように努めています。運営推進会議には行政の職員の参加を得て事業所の理解と協力関係の構築に努めると共に、地域の図書館職員や鍼灸師を招いて勉強会を開く等、事業所への理解や運営に活かしています。利用者一人ひとりの状況を職員は日々会議や申し送り等で共有して協力しながら安心して過ごせるよう支援に取り組んでいます。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/> 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/> 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員で考えた5項目を 来訪者や 職員の日につくところに掲げ 意識するようにしている 引き継ぎ時に 職員が交代で読み上げている	職員間で話し合い作成した事業所独自の理念を 玄関に掲示し、毎朝申し送り時に唱和して意識付けを行っています。利用者の気持ちに寄り添うことを大切にし状況が変化した際には職員間で話し合い、常に理念に立ち戻りながら日々支援することで理念の実践につなげています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内外のボランティアさんが 入れ替わり立ち会割 来てくださる オレンジカフェや 認知症専門病院が企画する 交流の為のカフェに参加している	運営推進会議等で地域の情報を得て公民館での作品展や地域の病院が主催する「はあとカフェ」や「オレンジカフェ」等に利用者で行っています。事業所にボランティアの訪問による踊りや楽器の演奏を楽しんだり、月3回傾聴ボランティアの訪問もあります。また、併設の事業所のフラワーアレンジメントに参加する等、積極的に地域の方々と交流しています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ご本人のご家族だけでなく 近所の方も一緒に見学に来られたりし 質問に答えている		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1回開催し 現状報告と共に 情報交換、勉強会もしている	会議は2か月に1回家族や地域住民、民生委員、地域包括支援センター職員、行政職員等の参加の下開催し、活動の報告や利用者の状況の伝達、事故報告等を行い意見交換をしています。地域の図書館の方や鍼灸師を招いて勉強会を実施したり、地域の行事等の情報をもらい参加を検討する等、会議をサービスの向上や運営に活かすように努めています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議には毎回参加して頂いており 情報交換をしている 自分で調べても解らないことは 町の福祉課に確認し 間違いのないようにしている	運営推進会議に行政職員の参加を得て意見交換を行っています。また、運営上の手続きで行政の窓口へ訪問したり、不明点を電話等で確認しています。行政から情報が届く等、行政との関係の構築に努めています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関は安全面を優先し 自動ロックにしているがベランダなどには鍵をかけていない 2ユニットは自由に行き来できるようにしている。身体拘束防止のについての勉強会を年に2回し 身体拘束をしないケアをしている	年2回身体拘束に関する勉強会を実施し、不参加の職員へは個別で研修を行い報告書を提出してもらっています。また、毎月職員会議の中で身体拘束適正化委員会を開催しています。言葉かけによる行動の制止が見られた時にはその都度注意し、会議や申し送り等でも伝えています。外出希望の利用者には出来るだけ職員が寄り添って散歩して気分転換を図り閉塞感の無い暮らしへの支援に努めています。	

グループホーム グレース(東棟)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内の虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止について勉強会をしたり 日常のケアの中で言葉使いなど 気になる事があったときは 注意している		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在 成年後見制度を活用されている入居者はおられない		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には重要事項を読み上げ 状況により噛み砕いた表現で言い直すなどして 理解して頂けるよう心がけている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様の面会時や電話連絡時に 要望などを伺い 職員間で情報の共有を行っている	利用者の意見や要望は日々の関わり合いの中で聞くように努め、希望する食事を提供する等サービスに活かしています。家族の意見や要望はアンケートや面会時、電話等で聞き、運動をさせて欲しいとの要望を受けて個別で散歩を増やす等、意見をサービスに反映しています。家族へは日々の様子を写真の送付や電話等で伝えて意見を得やすいように工夫しています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日頃から職員の意見を聞くように心がけている	不定期で行う職員会議や日々の中で随時意見や提案を聞いています。利用者の状況について職員間で日々話し合い支援方法を工夫する等、意見や提案を利用者へのサービスや運営に反映しています。また、利用者と一緒に作る貼り絵等の季節の作品作りは担当の職員が中心となって取り組んでいます。	職員会議が定期的には開催されていない状況ですので、職員間で直接意見を出し合う機会を増やされてはいかがでしょうか。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	適材適所の考え方や 休憩時間や残業等、無理なく意欲をもって 仕事ができるよう 考えて努めている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内外の研修に参加してもらい また実際にケアをしている場面で 管理者や リーダー研修受講者等から アドバイスなどしたり 新人からも質問をしてもらっている		

グループホーム グレース(東棟)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	運営推進会議などを通じネットワーク作りや相互間の情報交換に取り組んでいる		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前の面談時に 家族やご本人の話傾聴するようにしている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族やご本人が来られた時にゆっくりと時間をかけ 共感しながら話を聴くようにしている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	在宅時の担当ケアマネや 主治医からも情報を得、家族とも話し合い その時に必要な支援(その時のご本人の状況により 訪問看護等)を 入れている		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	洗濯物干し 洗濯物や清拭タオル畳み 食器洗い、枕カバー入れ、おしぼり巻き ポスターの写真切抜きなど 仲の良い方々でお喋りしながらして頂いている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時に口頭で様子を伝え、季節ごとのお便り、半年に1回は担当者から 細かい報告書を送らせて頂いている 以外に 2か月に1度程度日常生活の様子が解る写真を送らせて頂いている		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会時間は自由になっている ご本人やご家族の状況により ご家族の待つご自宅へ送迎することもある	友人や職場の同僚、曾孫等の来訪の際には居室へ案内し椅子やお茶を出してゆっくり過ごしてもらえるよう配慮しています。職員とオレンジカフェに訪問した際には知人との会話を楽しむ利用者もいます。家族と出掛ける際には薬や服装等の事前準備を支援し、携帯電話を持ち込み会話を楽しむ利用者もいる等、馴染みの人や場所との関係が継続できるよう支援をしています。	

グループホーム グレース(東棟)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ホールにはソファを置き 気の合ったもの同士で座れるようにしている 洗濯物畳みやテーブルで行うレクには 内容により 隣同士のメンバーを工夫している		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	施設入所等 された方に 面会に行ったり ご家族の状況により 一緒に面会に行くこともある		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人との会話、傾聴、日々の様子の中で把握したり ご家族、職員からの情報を得るようにしている	入居時に事業所や病院等で利用者や家族から面談で生活歴や身体状況、思いや意向を聞いたり、以前のケアマネジャーからも情報を得て職員間で共有しています。入居後は日々の中で利用者から聞いた思いや意向は記録に残し、把握が困難な場合でも家族に相談する等、本人本位に検討して思いや意向の把握に努めています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人や 在宅時のケアマネ、ご家族から聞き取るようにしている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者様 一人一人のペースに合わせて過ごして頂くようにしている 残存能力を使い少しでも 元気で過ごして頂けるようにしている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日常の様子を把握し 足りない情報は 職員から聞き取り 計画を作成している モニタリングは毎月行っている	アセスメントを基に作成した介護計画は、6か月毎の見直しを基本とし、利用者の状態に変化があれば随時の見直しもしています。毎月モニタリングを行い、見直しの際には再アセスメントを実施しサービス担当者会議を開き事前に聞いた家族や医師、看護師等の意見を反映しています。日々の介護記録には計画の実施状況を記載しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	生活状況記録に記入している また職員間連絡帳に医療面など 記入し情報を共有している		

グループホーム グレース(東棟)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入居者様、またご家族の高齢化によりニーズも増えてきている 看取り介護もしている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	傾聴、フラダンス、民謡、マッサージ、似顔絵等各方面からボランティアに来て頂き一緒に楽しい時間を過ごして頂いている オレンジカフェだけでなく 病院や 障害者関係のカフェなどにも出かけている		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人や家族の希望で かかりつけ医と連携をとり ながら支援している	入居時にこれまでのかかりつけ医の継続か協力医への変更を選択してもらい、かかりつけ医や専門医へは家族の対応を基本として受診し口頭や書面で情報を共有しています。協力医は月2回の往診を受け、緊急時は24時間連絡が可能で必要な指示等ももらっています。また、必要や希望に応じて眼科の往診や訪問歯科の口腔ケアや治療を受けています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	同じ敷地の特養の看護師には良く相談している。訪問看護師にも 急な相談にも応じて頂いている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には情報を提供している		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	家族の意向を聞き 本人の意向を確認し 医療との連携を行っている	入居時に指針を基に利用者が重度化した際に事業所として対応可能なことを家族へ説明し同意を得ています。重度化した際には再度家族へ意向を確認し家族と医師、職員間で話し合い体制を決定し、家族からも面会を増やしてもらおう等の協力を得て看取り支援をしています。不明点を看護師に確認しながらケアの統一を図り支援に取り組み、職員の不安の軽減にもつなげています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	打撲、転倒、やけどなど あり得る可能性の高い事故については つねに初期対応について話し合っている。 万一の時は特養や訪問看護師、医師に伺いしている。また業者さんによるAED使用の研修を 年に1度行っている		

グループホーム グレース(東棟)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を年に2回行っている	併設の施設と合同で年2回昼夜を想定し、内1回は消防署立ち会いの下利用者も参加して通報や避難誘導、初期消火等の訓練を実施しています。また、他の1回は消火器の業者の立ち合いの下で訓練を実施しています。法人には水や食料等の備蓄があり、事業所では懐中電灯やおむつ等を準備しています。	訓練実施の際には近隣への案内等を通じて参加を呼び掛けることで災害発生時の地域との協力関係の構築に向けた取り組みを期待します。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩として尊敬の念をもって接するよう心がけている	日々の中でプライバシーや尊厳について職員間で話し合っています。馴れ馴れしくなり過ぎないように敬意を持ち丁寧語での言葉かけを心掛け、問題のある言葉かけが見られた際にはその都度注意し、職員間で話し合っています。入浴や排泄介助時は利用者の希望に応じて同性介助を行い、羞恥心にも配慮した支援に努めています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ゆったりとした時間を一緒に過ごし 思いや希望を聞くようにしている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の日課は 概ね決まっているが ご本人の希望 体調、気分等によりご自分のペースでして頂けることは 臨機応変にしている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	入浴時は 次に着たい服を選んで頂いている 季節に合った服をご家族にもってきて頂いたり 施設への出張デパートなども利用している		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は法人の厨房から届く。ご利用者には一部分配膳や後片付けを手伝って頂いたり、日曜日には レクとしておやつづくりをしている	三食とも法人の厨房で作った食事が事業所に届き、年数回は事業所でカレーやシチュー等の好みの食事を作ったり、ちらし寿司を取って食べることもあります。朝と夕は職員も利用者と一緒に食事を食べ、毎週日曜日はおはぎやホットケーキ等のおやつを手作りしています。職員とお茶を飲みに行ったり、家族と外食に出掛ける利用者もいる等、食を楽しめるように支援しています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人一人の状態を把握できるように 記録をとり 水分摂取が少なかった次の日は しっかりとって頂いている 状態により医師と連携している		

グループホーム グレース(東棟)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後本人にあった口腔ケアをしている 必要に応じ訪問歯科も受けている		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表に記録し 一人一人のパターンを知り 少しでもトイレでできるよう支援している	座位の取れる方はトイレでの排泄を基本とし、個々に排泄記録を取りパターンを把握して利用者一人ひとりの状況に応じた声かけやトイレへの案内を行っています。利用者個々に応じた排泄用品の種類や支援方法を職員間で検討し、排泄の支援を継続することで排泄状況が改善した利用者もいます。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分をしっかり摂って頂くこと、ヨーグルトの提供、散歩等体を動かすようにしている		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	通常は午前中に入浴して頂いている 希望により夕食後に入浴の機会を作ることもある湯の熱さ加減、湯につかる長さなどはご本人の希望にそうようにしている	入浴は週2回を基本に、利用者毎に曜日を決めて体調なども考慮しながら午前中を中心に支援しています。希望があれば回数を増やしたり夜間の入浴も可能で、入浴剤を使用したり好みの化粧水等を持ってきている方もいます。一人ずつ湯を入れ替えコミュニケーションを取りながらゆっくり入浴してもらるように支援しています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜の入床時間はご本人の自由にしている 日中も 希望により 居室ベットや ソファでの休憩 も好きな時間にして頂いている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人の薬整理ケースに 薬の説明書もつけており 適宜確認できるようにしている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人一人の役割をみつけ 張り合いのある毎日を過ごせるよう支援している		

グループホーム グレース(東棟)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	お花見 いちご狩り 紅葉狩り等 季節に全員で出かける以外に 図書館、カフェ ドライブなどごく少人数ずつ出かけている	気候の良い時期には敷地内の散歩やベランダでの外気浴を楽しんだり、併設の施設へ出掛けています。職員とドライブやレクリエーションで使う材料を買いに外出したり、季節毎にイチゴ狩りや桜の花見、鯉幟を観に出掛けています。個別で家族との外出を楽しむ利用者もいる等、外出する機会を多く持てるよう支援しています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お小遣いは施設で管理されている バザーやカフェに行ったときは 使えるようにしている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族から贈り物が届いたりしたとき等 一緒に手紙を書いたり電話をしたりして頂いている		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	テレビの前やベランダ側にソファを置いて自由に座れるようにしている ベランダには季節の 草花など置いている	玄関に行事の写真や利用者の似顔絵を掲示し、フロアに利用者と職員で作った貼り絵を飾り季節を感じ温かい雰囲気を作っています。机や椅子は利用者同士の関係性に配慮して設置し、少し離れて一人で過ごせる場所も確保しています。利用者の体感を考慮しながら室温を調整し、加湿器を使用して湿度保持に気を配り、毎日換気や掃除を行い快適な共用空間作りに努めています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	東西の棟は自由に行き来できるようにしている また好きな時に居室に戻り、またこもりきりにならないよう 活動のお声掛けしている		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には家族写真や仏壇、お気に入りの物など置いておられる	入居時に家族へ使い慣れた馴染みの物を持って来てもらうよう伝え、鏡台や家族の写真、仏壇等の持参したものを家族に配置してもらい利用者の状況により配置を変更する事もあります。絵画や自身で作った人形を持ち込む方もおり、布団を敷いて休むことも可能でその人らしい居室作りを支援しています。毎日換気や清掃を実施して清潔保持に努め快適に過ごせる居室作りに努めています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室には表札をあげたり 「お手洗い」の文字を書いている		